

地方創生で、人口減少に歯止めを

町では、人口減少と少子高齢化に歯止めをかけるため、町の人口の現状と将来の展望を提示する「地方人口ビジョン」(以下、人口ビジョン)と、町の実情に応じた今後5か年の施策の方向を提示する「津別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下、総合戦略)の策定を進めています。

津別町創生総合戦略会議が開催

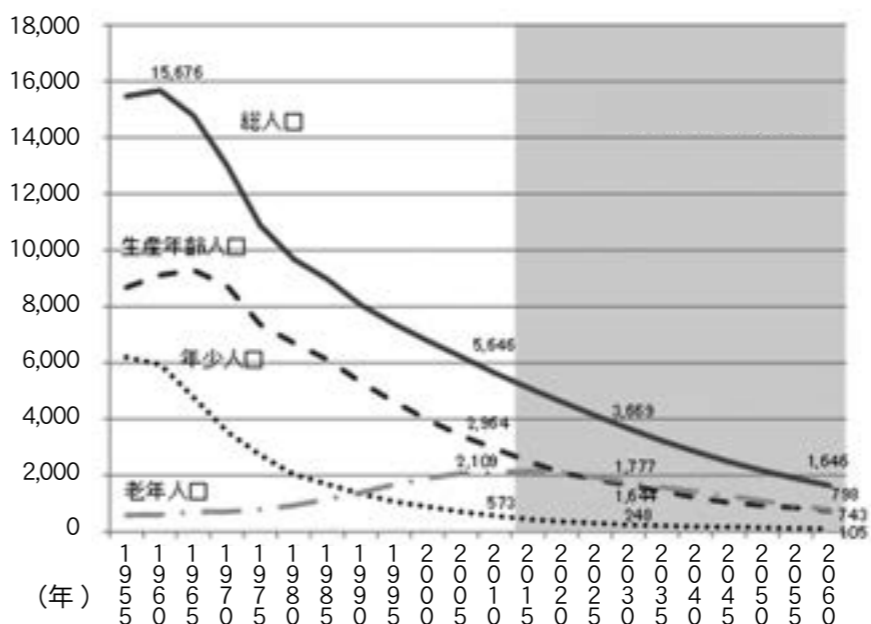
現在までの経過として、6月には、町民の皆様と、町外から町内の企業に通勤されている皆様を対象にしたアンケート調査を実施させていただきました。7月には、総合戦略の審議、検証を行うため津別町創生総合戦略会議が設置・開催されました。そして、10月頃をめどに人口ビジョン、アンケート結果、総合戦略を町民の皆様にも随時公開し、ご意見をいただく予定であります。

15年後には子供の数が半分に

図1では、津別町の総人口は1960年(昭和35年)の1万5676人をピークに減少推移しており、2010年(平成22年)の総人口は5646人で、ピーク時に比べ36.0%の減少となっております。2030年には子供の数を示す年少人口(0〜14歳の人口)が248人程度になると推計されています。

また、2030年の老年人口(65歳以上の人口)は総人口の半分ほど(48.4%)になると推計されています。

図1【人口ビジョン】津別町総人口及び年齢3区分別人口の推移



※ 2010年までは国勢調査(合併も考慮)、2015年以降は「日本の地域別将来推計人口(2013年3月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)に基づき作成。

4%)になると推計されています。この減少に歯止めをかける事業が「総合戦略」です。

飲食、買い物環境の充実を求める声

図2では、男性は、「買い物、娯楽、飲食店の充実」を求め、女性が最も多く、女性は「仕事、働き口の充実」が最も多い結果となりました。

図3では、町外への転動理由として「より充実した飲食、娯楽環境を求めて」という声が多かったです。この結果を受けて、施策の方向を検討しています。

図2【町民アンケート】町に維持・改善を求める項目

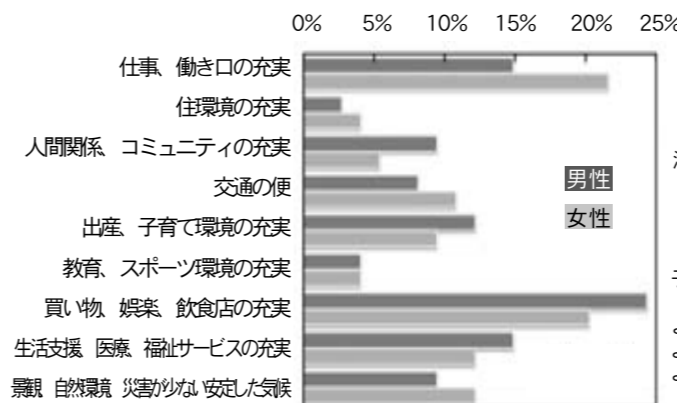
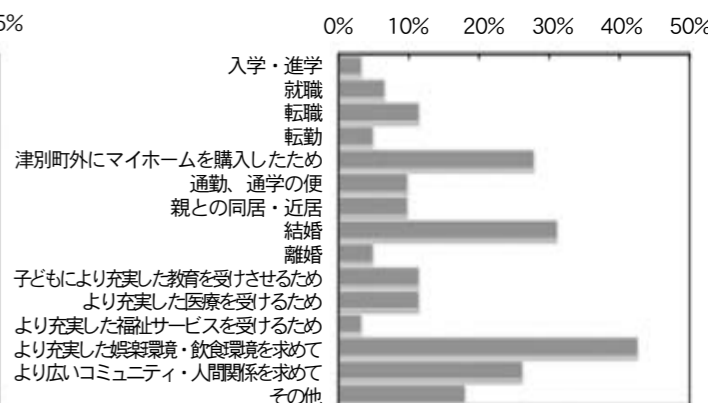


図3【通勤者アンケート】町外へ転動した理由



第4回まちなか再生協議会開催

今年度より行っている筑波大学との共同研究による「まちなか再生事業」。今回は第4回協議会の取組の状況をご報告いたします。

コンパクトシティとはどんなまちづくりか？

7月17日、さんさん館で行われたまちなか再生協議会では、「コンパクトシティ」津別で考える小さな拠点」と題して講師の谷口守教授より講演をいただき、その講演をもとに、委員同士によるディスカッションと発表を行いました。

まず「コンパクトシティとはそもそもどういうものか」「身の丈にあったまちづくりとは何か」をテーマに谷口教授より説明をいただきました。その中で、アメリカのヒューストンとドイツのカールスルーエという二つの都市を比較し、コンパクトシティについては、建物をただ集積化しただけではよいまちづくりにはならないということ、公共交通機関の利便性が高いことが重要、マスタープランをもつことが必要という考え方が示されました。

また、コンパクトシティの実際のまちづくりの分析をすると、駅前型拠点、道の駅型拠点といった、7つの分類に分けられるという説明から、協議会委員の皆様は「津別町で小さな拠点を成立させるには」というテーマでディス

カッションを行っていただきました。協議会の皆様からの意見では、「津別町は既にコンパクトシティなのではないか」「上里地区は観光の低集積拠点になるのではないか」「今、住んでいる高齢者のための移送サービスの充実など、高齢者のための集約が必要なのではないか」といった意見がでてきました。

北海道(津別町)はすでにコンパクトシティなのではないか？

谷口教授からは、世界各地のさまざまなまちづくりの例(町全体が古本市のまち、道の駅と公共施設が一体化し

た施設を新たな拠点にしたまち、一人のまち)を説明いただいた後に「北海道は歴史的にまちづくりが自然とコンパクトシティになっているのではないか」「他の町と比較した時にその町独自のキャラクターのあるコンパクトシティになりうるのか」「費用対効果の面も含めて、移送サービスなどは実際に利用する住民がいるのか」といったアドバイスをいただきました。

最後にはEF(エコロジカルフットプリント)指標という環境負荷の指標をもとにした、新たなまちづくりの考え方もご教授いただきました。協議会の皆様の議論や、谷口教授からのアドバイスは、津別町の今後のまちづくりにおいて重要になる内容であると考えます。今後も、協議会委員のまちづくりへの議論を深め、筑波大学との共同研究の中から具体的なまちづくりを進めてまいります。

次回のまちなか再生協議会は9月25日(金)を予定しております。一般公開形式にて開催しておりますので、お気軽にお越しいただければと思います。

《どちらのまちがコンパクトシティか?》



まちなか再生事業HP (津別町HP内)QRコード



facebook

facebook - QRコード

